

2023年度

介護付有料老人ホーム ウェルガーデンみその

事業計画

1. 2023年度 キャッチフレーズ(サービス)

暮らしやすい環境づくりと個性の尊重

2. 2023年度 キャッチフレーズ (スタッフ)

働きやすい職場づくりと安定した収益の確保

3. 基本方針

- ① 施設に入居されても今までの生活や人との繋がりが継続できるように支援します。
- ② 入居者様の「夢」や「想い」を始点に、家族様や地域の方々と協力して「夢」や「想い」の実現に努めます。
- ③ 運営において慣例的に実施している業務を見直しながらサービスの質を落とすことなくICTの導入などで効率化を図ります。
- ④ 業務に追われない施設運営を目指しスタッフのライフワークバランスの充実に努め働きやすい職場づくりをします
- ⑤ 感染症や災害が発生した場合であっても、必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築します。
- ⑥ 不適切な対応や身体拘束・虐待の防止を施設一丸となり取り組みます。

4. 援助方針

- ① 入居者様を「一人の大人のお客様」と理解して適切な対応をします。
- ② 入居者様・家族様一人ひとりの気持ちを汲み取り、生きがいのある暮らしを支援します。
- ③ 「おもてなしの心」を持ち入所者様とのコミュニケーションを大切にします。
- ④ 自由と調和のある暮らしを支援します。集団的なケアから個別的なケアへの転換を目指します

5. 令和 5 年度の重点目標

(1) 「夢を叶えるプロジェクト」の推進

入居者様の「夢」をケアプランに反映し、本人、家族様、地域の人々、施設職員と連携しながら、みんなで「夢」を叶えるための目標を立てます。

巣ごもり生活の間に低下した心身の機能の回復のため外へ出たり、人と逢ったりするなど対外的な事について予防策を講じながら積極的に実行します。

(2) 「空間デザインによるケア」の推進

高齢者施設にありがちな子供じみた装飾などを見直し、統一感のある大人が暮らす生活空間を作ります。

屋内外において四季を表現し豊かな暮らしに繋げていきます。

(3) ライフワークバランスの充実

施設サービスの質の維持向上と法人の取り組む健康経営(働き方改革)の更なる推進に向けて業務の分業化・簡素化、効率化(外部委託や ICT 化)を推進します。

時間短縮勤務を継続しスタッフのストレスケアに繋げ働きやすい職場づくりを推進します。

(4) 身体拘束、虐待の予防と撲滅

施設内委員会を立ち上げ不適切対応、身体拘束、虐待の予防や学びを進め完全撲滅を目指します。

5. 支援内容

(1) 「夢を叶えるケアプラン」の策定

- ① ケアプランに本人の「夢」という項目をつくり、夢を叶えるための目標をみんなで共有、共感し、生きがいに繋げていきます。
- ② PDCAサイクル(業務改善)や介護過程の流れ(アセスメント→計画の立案→実施→評価)の4段階のくり返しを活用しながら適切な個別ケアをしていきます。
- ③ 入居者様だけではなくご家族の思いにも寄り添い、「夢」の実現に向けた取り組みを行います。

(2) 個別ケアと健康管理

入居者様の希望に沿った介護を行うとともに、日々の介護等から看護師、主治医、薬剤師など(多職種連携によるチームケア)、ご家族と連携し、疾病の早期発見や予防に努めます。

看護師を中心として施設の感染症 BCP を作成し感染症に強い施設作りに努めます。

(3) 季節に応じた行事(イベント)の実施

- ① 年間行事計画(別紙表1)を作成し入居者様・ご家族、地域の方々にも参加していただきます。
- ② 四季を意識したイベント食(夢プロとリンク)を計画し、入居者様の楽しみに繋げていきます。

(4) 安全・安心な環境整備の実施

入居者様一人ひとりの介護に応じた環境整備を進め、安心・安全な暮らしを支えています。

7. 各種会議・委員会(別表1)

(1) 各種会議の開催

- ① スタッフ全体ミーティングの開催(9月・3月)
- ② 主任会議の開催(月1回、第1水曜日 16:15~18:15)
 - ・各職種の責任者が出席し施設運営について検討を行います
 - ・介護スタッフからのケア内容検討事項を確認、提案、決定などを行います
- ③ サービス担当者会議(随時)
 - ・ケアマネが主催し入居者様の夢や個別ケアの計画、確認を行います。
- ④ 食事会議(原則として月1回)
 - ・施設で提供される食事内容の向上について委託業者と検討します
- ⑤ ICT委員会
 - ・ICTの導入、活用について協議し業務のデジタル化を推進します
- ⑥ BPR委員会
 - ・ルーティン業務において常にムダ・ムリ・ムラが無いかが検討しサービスの質を維持しながら業務のスマート化を推進します
- ⑦ 身体拘束・虐待防止委員会
 - ・3ヶ月に1回以上委員会を開催し身体拘束の有無の確認を行います。
 - ・職員採用時と年2回以上の研修を実施します。
 - ・虐待についても身体拘束とは別に広義に渡り理解を深め虐待防止に努めます。
 - ・委員会及び研修についても身体拘束同様に行います
 - ・身体拘束や虐待につながる不適切な対応についてもその都度、協議し改善します

⑧ SNS 戦略委員会

- ・施設の活動や入居者様の暮らしの様子を発信し家族様に安心感をお届けします。
- ・施設利用をお考えの方や求職者が「入居したい！」「一緒に働きたい！」と感じて頂ける情報を発信します。
- ・施設案内のPVを作成します。

⑨ 感染症・衛生管理委員会

- ・感染症の予防対策を常時行うと共に感染症 BCP を作成し感染症に強い施設作りを進めます。
- ・6 カ月に 1 回以上の委員会を開催し施設の衛生管理状態や感染症対策について協議します。
- ・職員採用時と年 2 回以上の研修と訓練を実施します。

⑩ 非常災害対策委員会

- ・災害が発生した場合であっても必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、事業継続に向けた計画等の策定 (BCP)、研修の実施、訓練 (シミュレーション) を実施します。
- ・概ね 6 カ月に 1 回以上の委員会を開催し指針、計画等の見直しを行います。
- ・職員採用時と年 2 回以上の研修と訓練を実施します。

(2) 職員研修等の実施

「人間力」と「自主性」の向上を目標に外部の研修やセミナーに参加する機会を作ります
内部の研修はオンライン研修(お茶の水ケアサービス学院のネット配信研修)を中心として「必須研修」と「任意研修」を定め各自で受講しレポート提出をします。

2023年度 委員会構成

名称	メンバー	委員会等の 開催	研修	訓練
ICT 推進委員会	若宮俊介・中森一磨 小倉里美・橋本昌代	3月 9月	なし	
BPR 推進委員会	中井美晴・金澤理恵 中川晴美	月1回	なし	
虐待・身体拘束防止 委員会	山下颯・宮本圭子 大藪陽子・山下ゆかり 長辻幸子・益田貴美代	4月 7月 10月 1月	個別 Web 研 修(年2回)	
SNS 戦略委員会	中村萌子・下村愛 道清佑音	6月 12月		
感染症・衛生管理 委員会	小倉里美・下村愛	3月 6月 10月	個別 Web 研 修(年2回)	5月 11月
非常災害対策委員会	中北賞・若宮俊介 金澤理恵・若宮俊介 山下颯・中森一磨	5月 11月	個別 Web 研 修(年2回)	6月 12月

青字は委員長

※1 虐待・身体拘束についての新規採用時の研修は施設長が行う

※2 感染症・衛生管理についての新規採用時の研修は看護師が行う

※施設長・副施設長は全活動を総括する

(別紙 表1)

2023年度 年間行事予定表

月	施設の行事	サブイベント	週末レク
4月	お花見ドライブ		担当者が企画
5月	ドライブツアー	出前の日 (第3金曜日)	担当者が企画
6月			担当者が企画
7月	屋台B級グルメ イベント	出前の日 (第3金曜日)	担当者が企画
8月			担当者が企画
9月	みその花火大会	出前の日 (第3金曜日)	担当者が企画
10月	自家栽培 焼き芋大会		担当者が企画
11月		出前の日 (第3金曜日)	担当者が企画
12月	マグロ解体ショー		担当者が企画
1月	初詣ツアー	出前の日 (第3金曜日)	担当者が企画
2月			担当者が企画
3月	春の寿司祭り	出前の日 (第3金曜日)	担当者が企画

行事内容については、社会情勢(新型コロナウイルス等)の関係で変更する場合があります。
上記の他にサプライズイベントを開催する事があります。

(別紙 表2)

2023 年度 ウェルガーデンみその 研修計画

月	研修テーマ	ツール
4月	個別 Web 研修	お茶の水 ケアサービス 学院
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

※個別 Web 研修については「お茶の水ケアサービス学院」のネット配信研修を活用
施設が指定する必須研修と個人が選択する任意研修を受講してレポートを提出して頂きます。